



ヨ ジ ユ

北区との新たな
友好都市協定
締結をめざし

韓国・驪州市を視察

北区日韓親善協会・訪韓ツアー



初日は、金浦国際空
港からソウル入り。そ
のまま専用バスで仁川

国際都市・仁川

参加者は、北区の内
田隆副区長と民団の代
表、区議会自民・公明
会派、日本共産党から、
山崎たい子区議、なが
いともこ区議、私の3
人で、総勢12人でした。

16日から19日まで、北区日韓親善協会の訪韓
ツアーに参加しました。4年ぶり4回目となる
今回は、新たな友好都市協定締結候補地の驪州
(ヨジユ)市などを視察しました。(のの山けん)

(インチョン)市へ移
動し、チャイナタウン
やマツカーサー将軍の
銅像が立つ自由公園、
巨大なビルが林立し、
「韓国のドバイ」とも
呼ばれる松島国際都市
を見学しました。

世宗大王が眠る 学園都市・驪州

2日目は、北区との
友好都市協定候補
地として、驪州市
を訪れました。
ソウルからはバ
スで約1時間半。
まずは、李氏朝鮮
第4代・世宗(セ
ジョン)大王と第
17代・孝宗(ヒョ
ジョン)が眠る世
界遺産の王陵、英



「韓国のドバイ」松島国際都市

寧陵に。続いて南漢江
沿いに建つ古刹、神勒
寺(シンルクサ)を見
学しました。
その後、訪問した驪
州大学では、父親が大
学の創設者で、学生時
代は北海道大学に留学
していたという鄭太景



驪州大学で鄭太景名誉教授と懇談

(チョン・テギョ
ン)名誉教授が
温かく迎えてく
れ、流暢な日本
語で懇談に応じ
てくれました。
鄭教授から
は、北区と驪州
市の友好都市協
定締結にも一役
買いたいとの表
明があり、今後とも交
流を続けていくことを
約束しました。

この日の最後は、広
大なモールが続く驪州
プレミアムアウトレッ
トに立ち寄り、買い物
を楽しみました。
(裏面に続く)



彩鮮やかな提灯が舞う神勒寺

3日目は自由行動となり、山崎・ながい両区議とともに、私の案内でソウル市内を視察しました。

まずは、崇礼門（南大門）から光化門広場まで徒歩で移動する途中、ソウル図書館にかかった巨大な垂れ幕が目に入りました。ここでも南北対話が新たな局面に入ったことを実感。

植民地支配の傷跡 残る西大門刑務所

次に、日本による植民地支配の時代に独立運動家ら



西大門刑務所歴史館

を収監し、拷問などをおこなっていた西大門（ソデムン）刑務所跡地（現在は「歴史館」として公開）を訪問。三・一運動で日本からの独立を叫び、この刑務所で獄死



「南と北がつくる平和」と書かれたソウル図書館の垂れ幕

した若き女性指導者、柳寛順（ユン・ガンスン）の部屋も復元されていました。

再び「水曜デモ」へ

ちようどこの日は水曜日。2月の訪韓時に続き、正午から日本大使館前で行われていた日本軍「慰安婦」問題の解決を求める水曜デモに、再び参加しました。

1331回目となる集会では、高校生ら若い参加者の姿が目立ちました。

王朝の秘密の庭園に足を踏み入れる

続いて、朝鮮王朝の宮殿、



慰安婦問題の解決を求める第1331回水曜デモ

景福宮（キョンボックン）の離宮としてつくられた昌徳宮（チャンドックン）へ。ここには、「秘苑」（ピウォン）と呼ばれる観光エリアがあり、追加料金を払って日本語のツアーに参加。王や王妃も目にしていたであろう秘密の庭園や池など見事な自然を、心ゆくまで楽しみました。

戦争と女性の 人権博物館

この日の最後は、3度目の訪問となる戦争と女性の人権博物館に。日本軍「慰安婦」問題について、基礎



芙蓉池と宙合楼（昌徳宮の秘苑ツアーにて）



戦争と女性の人権博物館の前で

知識から現在の運動の到達点、その根本的な解決の方向まで、充実した内容を学ぶことができます。日本人なら、ぜひとも一度は訪れてもらいたい博物館です。

韓国を知ることが 日韓親善への第二步

最終日は単独で、ソウル歴史博物館、大韓民国歴史博物館、景福宮内の乾清宮、雲峴宮などを回りました。

北区の日韓親善事業に携わって8年目。韓国を見て、知ることこそが日韓親善への第一歩、また韓国を訪れてみたいと思います。